

第48回 飯山市都市計画審議会 議事録

平成30年3月22日(木)
午後3時30分～午後4時45分
市役所4階 第2、3委員会室

1 開会

山崎部長兼課長

2 審議委員の変更について

山崎部長兼課長

3 会長あいさつ

伊東会長

4 報告事項

事務局

第47回審議会における処理結果について

5 議案審議

伊東会長

それでは議事に入りたいと思います。

議案第1号「飯山都市計画下水道の変更について」事務局から説明をお願いします。

《議案第1号説明》
事務局(高橋下水道係
長、奥原副主幹)

議案第1号「飯山都市計画下水道(飯山市公共下水道)の変更について(飯山市決定)」

手塚委員

木島の浄化水槽は地区の方が使われるということだが、だいたいの大きさとどんな風に使われるのか教えて頂きたい。

事務局
(高橋下水道係長)

鉄筋コンクリートの平家の上屋と地下に処理の水槽があります。この部分について地元の安田区に利用していただくことになります。広さは100坪あるかどうかです。その中はコンクリート打ちばなっしで、所々下水道処理施設なので点検口(マンホール)があります。基本的に中はフラット。そこを安田区で地元で管理している資材の倉庫代わりとして使用する予定です。

佐藤委員	農業集落排水事業については、農業振興地域の中で事業化されるべきものであると思うが、今回の主要施設の農業集落排水の上新田地区は都市計画区域なのですか？
事務局 (高橋下水道係長)	はい。
佐藤委員	後利用の関係なんですけれども、地元に対してこれからきちんと整備の内容や後利用の計画等提示され、契約等になると思いますが、有償無償というところでは地元は無償と現在理解しているがそれでよろしいか？
事務局 (高橋下水道係長)	地元に対しては無償。基本的に使用料は発生しません。ただ、他の地区では電気や水道などユーティリティー費については地元負担ということで、常盤地区ではそういった感じで使用しています。
佐藤委員	貯水槽プールの部分について、どこが具体的に危険なのか現地はわからないが、危険のないような処理はしていただけるのか。
事務局 (高橋下水道係長)	今後、施工内容について地元と詳細な協議を進めさせていただきたいと思っており、現状でもFRPのマンホールであったりとか合成樹脂でできた蓋がかぶっておりまして、危険がないような状況ではありますが、無造作に蓋を開けると下は水槽なものですから、転落の危険がある。こういうところは埋めてほしいなどの要望があれば地元の要望に応えられるような形にしていきたい。
佐藤委員	使用料負担金については今後かかるということなのか。下水道の使用料という意味合いなのか。
事務局 (高橋下水道係長)	今度、農業集落排水が下水道に統合されるようになるとそのエリアが公共下水道の木島処理区というエリアになります。そうしますと、下水道使用料は現状の公共下水道木島処理区の料金体系になります。下水道に新たに加える場合、下水道負担金が発生します。それも今度は公共下水道の範囲になります。
佐藤委員	どちらかといえば農集の方が高いイメージですよ？
事務局 (高橋下水道係長)	農業集落排水上新田地区については、ほとんど料金体系は一緒ですし、下水道の負担金も農業集落排水時代と分担金と同等で、1件あたり29万円。新たに公共下水道に移管されたからといって、住民の皆様の負担が増

えることはありません。

佐藤委員

後利用の関係で、安田区ということで明文化されているが、木島地区全体で何か活用方法があれば、又貸しという方法がいいのか、連名で契約するのがいいのか。いずれかの方法はとれるのでしょうか？

事務局
(高橋下水道係長)

木島地区内で相談いただきまして、最終的には安田区が使いますということで話し合いがまとまったかと思います。その後につきましては、木島地区でお話しをмонでいただければいいかなと思います。

手塚委員

参考までに教えていただきたいのですが、農業集落排水は当時、補助金で作ったんですよね？行政の場合、補助金で作ったものを用途変更をするとき、例えば補助金の出先のところに何十年経ったとか報告とかするんですか？

事務局
(高橋下水道係長)

補助金で建てた処理施設でございますので、耐用年数は切れているんですけども、財産処分にあたった通常ですと評価額の残額の補助金相当分を返還しなければいけないと言われております。ただし、地元にも有効利用していただけたところで、地域受益者に地域活性化のために利活用していただくことについては補助金返還の必要はありませんというようなことが、補助金の適化法といわれるものにうたわれております。これに基づきまして、使用目的を農業集落排水ですから農林水産省へ報告することで、補助金返還免除というかたちになります。

伊東会長

農業集落排水を公共下水道にすることによって、年額1000万円程度浮いてくるということだが、これからかかるであろう工事費など諸々を差し引いて、相殺して浮いてくる金額なのか？

事務局
(奥原副主幹)

そうです。

伊東会長

ということは、それだけ考えるとかなり浮いてくるということだよ。かかる工事は別とすれば。

事務局
(奥原副主幹)

そうです。特に木島の農業集落排水の処理場の方を利用するのに対してお金がかかります。

伊東会長

今、市全体の下水道の料金は、農業集落排水は別として公共下水道は、ほぼ全地区料金は同じなのか？

事務局
(高橋下水道係長)

斑尾地区は別の料金体系なんですけれども、戸狩・木島・飯山の公共下水道の料金は全て共通でございます。

木下委員

議案資料集の4,5,6ページで、排水区域図が結構歪な形をしているが、これは例えば農振農用地を外してるといったことなのか、それとも既存宅地でやっているのか。6ページは面白い形をしている。これはどういう区域決めになっているのか？

事務局
(奥原副主幹)

歪な形は農業農用地を外しているものであり、プラス既存の宅地を囲っていくなかで、このような形になりました。また6ページについては長く出ている部分はこれがちょうど都市計画区域境でして、赤いところが都市計画区域内で、これよりも上の部分の小沼区は都市計画区域外ということでこのような表示の仕方になりました。ご理解いただければと思います。

伊東会長

料金のことなだけども、これからどんどん人口が減っていくだろうという中で今の段階で1千何百万プラスになるということですが、このまま人口が減っていった場合どのぐらいで逆転する予想を立てているのか？
公共料金が高いと言われているが、下水道と水道っていうのは平行していくもので、その中で、当然人口も減ると料金が高くなっていくが、統廃合することによって経費削減を図って、無駄なお金を使わないように努力していただくんだろうなと思いますけれども。とにかく一番は人口が減っていく中で、今後下水道事業が行き詰らないようにやっていただきたいと思う。

伊東会長

斑尾で非常に加入率が少ないといわれているが。いまどのくらいなのか。

事務局
(高橋下水道係長)

斑尾の加入率につきましては、残念ながら50%くらい。斑尾のペンションについては外国の方が入ってきているような状況で、外国の方がペンションを買い取って、使用する際に今まで浄化槽がついていたが、それを下水道につなぎこむことが進んできている。今年度につきましては、6件ほど下水道へのつなぎ込みが進展しているんですけれども、この部分につきましては、今後も下水道への切り替えを特に事業者の皆様につきましては積極的に働きかけていきたいと思っております。浄化槽の部分につきましては、県の方も環境サイドで関係しておりますので、長野県の皆様とも協力して浄化槽の加入促進に努めていきたいと考えております。

伊東会長

持ち主が変わるときに下水道をつなぎこまなければ名義が移らないというものはあるのか。

事務局

(高橋下水道係長)

そこまでの規定はございません。

伊東会長

4月から名義が変わることによって、固定資産税が10年間免除になる。優遇していくわけだから、この際下水道のつなぎこみをしっかり指導し、加入率をあげてもらうことが下水道の料金を抑えるひとつの手段になるんだろうなと思う。

事務局

(高橋下水道係長)

そのように務めてまいります。

真野先生

人口減少と関係ある部分と単に整備するのにどっちが安いかわからない。受受益者負担で賄っているところはシュミレーションに関係しているのかどうかということを会長さんはおっしゃりたかったのではないかなと。

本当はもっといろいろな長期的な要素があつての今回の変更もその中のひとつであつて、単に二つのやり方どちらが10年間で安いかわからないということだけではないということだろうなと私は理解したので、そういう意味ではすぐ答えは出ることではないが、そういうのを長期的に考えたかどうかということかなと考えました。すぐ審議結果というものではないんですけど、今の変更というものは大きな流れの中の再編成ですので、そういうことの中のひとつということかなと思いますので、そういう認識で共有できたらと思います。

伊東会長

いずれにしても、これからはコンパクトシティということだから、とにかく広いこの地域、人口は減っていくけれど、1軒でも2軒でも住んでいれば下水道対応をしていかなければいけない。そういうことを長期的に行政の皆さんは考えていって頂かないと、いつか行き詰まる結果になると思う。飯山市を愛する人間としてお願いしたいと思う。

6 その他

事務局

都市計画マスタープランの見直しと立地適正化計画の策定について

7 閉会

山崎部長兼課長